

主催：土木学会四国支部、徳島大学環境防災研究センター

地域継続シンポジウム

令和8年

3月6日（金）
14:00～15:30

参加
無料

オンライン開催（Zoom）

対象 地域中小企業経営者・従業員、
自治体関係者、商工関係団体等

近年、激甚化する自然災害は地域経済に甚大な影響を及ぼしています。特に中小企業にとって、被災からの早期復旧と事業継続は、自社の存続のみならず地域住民の生活を守ることと同義です。

本シンポジウムでは、令和6年能登半島地震および豪雨災害を経験された経営者の観点から、未曾有の困難をいかに乗り越えたかという実体験を学びます。また、中小企業向けの防災対策である「事業継続力強化計画」の策定についての重要性を学び、地域中小企業のレジリエンス向上を考えていきます。

プログラム

14:00 **開会挨拶** 主催者代表

14:05 【第1部】特別講演・ディスカッション

「被災から立ち上がる：能登半島地震・豪雨を乗り越えて」

本谷 一知 氏（もとやスーパー 代表）

聞き手：湯浅 恭史（徳島大学環境防災研究センター）

15:00 【第2部】専門講義

「中小企業が取り組むべき防災：事業継続力強化計画の重要性」

湯浅 恭史（徳島大学 環境防災研究センター）

15:30 閉会

本谷 一知 氏 特別講演講師

石川県輪島市町野町にある唯一のスーパーマーケット「もとやスーパー」2代目社長。

令和6年能登半島地震と豪雨の二度の大災害で甚大な被害を受けながらも、「地元の人に将来も必要とされる店にしたい」との思いで再起を決意。積極的に情報発信を続けながら、地域住民の生活拠点・復興拠点としての復活を目指している。



参加申し込み・お問合せ先

徳島大学環境防災研究センター 担当：湯浅

参加される方は、氏名・ご所属を書いて下記メールアドレスにお申し込みください。

Mail：yuasa.yasufumi@tokushima-u.ac.jp

Tel：088-656-7620

参加申し込み締切：3月4日（水）